

記者発表(発表・資料配布)				
月/日	担当事務所	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の発表・配布先
12/20	県立コウノトリの郷公園	(0796)23-5666	宇都宮 英信 (吉本 宏治)	但馬県民局県政記者クラブ
<p>野生コウノトリの飛来 (幼鳥) について</p> <p>昨日、野生コウノトリと推定される個体 (幼鳥) が県立コウノトリの郷公園内に飛来したことを、郷公園 飼育員が確認しましたので、下記のとおりお知らせします。<u>郷公園内で野生コウノトリを確認したのはハチゴロウ、エヒメに続き3例目 (10年ぶり) のことです。</u></p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 確認日時 2016年12月19日 (月) 15時</p> <p>2 確認場所 県立コウノトリの郷公園 個体ケージ1</p> <p>3 発見者 県立コウノトリの郷公園 飼育員</p> <p>4 発見時及びその後の状況</p> <p> 12月19日 (月)</p> <p> 15時 飼育員が個体ケージ1の近くに降り立っている当該個体を確認</p> <p> 15時25分 個体ケージ1から飛び立つ</p> <p> 15時30分 郷公園公開ケージにいることを確認</p> <p> 研究員により野生個体推定に関する確認作業</p> <p> 12月20日 (火)</p> <p> 11時 郷公園内にいることを確認</p> <p>5 当該個体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年生まれの幼鳥*であると推定される ・2016年度に巣立った但馬由来、福井・野田市由来の個体は、すべて足環がつけられており、個体識別が可能なことから、当該個体は大陸由来であると推定される <p>*郷公園では巣立ちから1年未満の個体を「幼鳥」としています</p>				

6 推定の根拠

- ・足環がついていないこと
- ・幼鳥の特徴である足全体が黒ずんだ赤色をしていること
- ・中雨覆（ちゅうあまおおい）の一部の羽の色が黒く、幼鳥としての特徴を示していること

7 これまでの郷公園内での野生個体の飛来について

2002年8月5日 ハチゴロウ♂（2007年に死亡を確認）

2006年5月1日 エヒメ♀

8 備考

当該個体の写真データを後ほどメール送信します。

9 郷公園からのお願い

- ・静かに見守りましょう
コウノトリを驚かせないように優しく静かに見守りましょう。コウノトリの観察・撮影等は、コウノトリが遠ざかったり、飛び立ったりしないように150m以上(自動車の中からでは100m以上)離れて行いましょう。
- ・野外のコウノトリの餌を与えるのはやめましょう。
野外で生活するようになったコウノトリは、野生生物、無主物であり、人間は彼らと一定の距離を保つ必要があります。野生復帰の目標である、コウノトリが野外で自活し、真の（存続可能な）野生個体群を確立させるために給餌は行わないようにしましょう。
- ・地域に迷惑をかけないようにしましょう。
コウノトリは集落周辺の水田、草地、河川、水路などで餌をとり、巣塔や大木等に巣を作ります。観察するときは、無断で私有地や農地に入らないようにしましょう。また、農道や林道に駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。

（郷公園作成 コウノトリ飛来時のパンフレットより）

お問合せ先：兵庫県立コウノトリの郷公園 担当 西井

TEL(0796)23-5666